ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成23年 No.233 4月号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

自民党、統一選前半で健闘
京都府会、市会で第一党を堅持

共産党後退、新しい党が進出

4月10日に執行された統一地方選挙は全国的に自民党が健闘、民主党が敗北という形に終わった。自民党京都府連は京都府会で27人、京都市会では24人を公認した。選挙序盤から終盤まで、自民党にはかなり厳しい予想が多かったが、各候補者はよく頑張り京都府会で25議席(勝率92・6%)、京都市会で23議席(勝率95・8%)を獲得し、京都府会、市会とも第一党の座を堅持した。この結果京都府政、市政で責任与党として、今後も引き続き大きな役割を果たすことになる。戦後、京都政界において大きな影響力を発揮してきた共産党は府会、市会でも議席を減らし、勢いもようやく過ぎた感じである。一方、京都党という地域政党が、京都市会に4議席を占め、市会の改革を強く主張してくるだろう。また、来年1月には京都市長選挙が控えている。市長選挙を巡って、各政党間の思惑が入り乱れ、今後いろいろな動きが出てくるものと予測される。

自民、民主、共産の三極選挙で激しい戦いがくり広げられた向日市選挙区

恒心

★統一地方選挙の前半戦が終わった。選挙前の予想では、東北大震災の影響で、選挙戦への自粛ムードが拡がり、しかもテレビ、新聞があまり選挙報道をしないために、有権者は無関心となり、投票率が下がり、組織を持つ共産党や公明党が有利となり、自民党には不利であると言われていた。事実私もそう信じていたし、各演説会場でそのような趣旨の話を繰り返した。★しかし、結果は取り越し苦労となった。自民対民主の対決選挙となった北海道、東京、三重の知事選挙では自民推薦候補が勝利した。三重県は岡田民主党幹事長の地元であり、国会議員の数も圧倒的に民主党が多い。今や、愛知、三重県は民主王国と言ってよい強固な地盤を持っている。そこでも自民推薦候補は民主党推薦候補を破った。★一昨年の総選挙で、民主党は政権を獲得した。政治なんて誰がやっても、どの政党が政権を担当しても同じと安易に、民主党に1票を投じた人は多い。しかし民主党政権の運営振りを見ていると、このままでは国の安全は大丈夫か、国は国民の生命財産を守ってくれるのかという素朴な疑問と、民主党に対する失望感が湧き出てきた。★民主党政権が誕生して1年半余り、国民は高い授業料を支払ったけれど、反面多くの教訓を得たし、また色々なことを学んだ。そこに追い討ちを掛けたのが大震災と、原発事故への対処のまずさ。菅総理の統治能力と指導力のなさ、民主党の未熟さに国民はようやく気づき始めた。大震災が起こり、国難を迎えたこの時に、国民は経験も知見もある自民党の安定感に期待を寄せたことが、統一選挙の勝因であると思う。

二ノ湯議員、東北被災地に入る

同僚と仙台、石巻へ激励訪問

3月11日、東北地方に起きた大地震により、岩手、宮城、福島県の沿岸約600キロメートルの町や村にかってない巨大津波が襲いかかった。最高で38メートルが観測されている。テレビを通して見る被災地の状況は、津波がすさまじいエネルギーを持ち、一旦被害に遭遇すれば、その破壊力がいかにすごいかを教えてくれた。地震から3週間余りが過ぎた4月5日、二ノ湯議員は現地の被害状況をつぶさに視察するために、中川雅治（東京選挙区）、末松信介（兵庫選挙区）両参議院議員と、仙台市と石巻市を訪問した。朝7時に支援物資を積み込み宿舎を出発、東北自動車道で一路仙台を目指した。自動車は思いの外スムーズに走り、4時間ほどで仙台東部道路の仙台東インターに到着した。ここから、仙台市の中で最も被害の大きかった宮城野区に入った。この地域はあたり一面平地、津波発生後多くの遺体が見つかった場所で、家屋は破壊され、自動車の残骸があちこちに散乱していた。仙台のような大都市の中に、こんな被害を被るような場所があることが信じられない。おそらく普段は海に近く、海水浴も出来、海風が吹いて、非常に過ごしやすい環境なのかも知れない。それが津波に無防備で、一瞬にして廃墟と化してしまった。

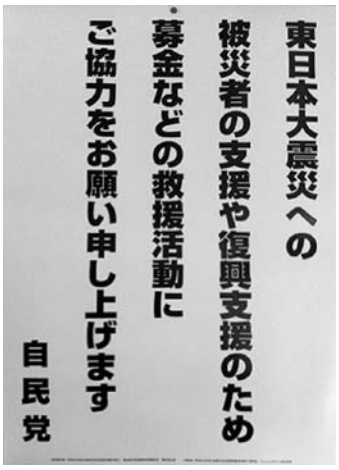
宮城県災害対策本部　行方不明者、さらに増える見通し

その後、宮城県庁に向かった。市内中心部は全く平常通りで、地震の被害は一見してどこにも見られない。県庁に着いた時、昼頃だったので、昼食を食べに食堂に行こうとしたが、地震で仙台市のガス管が被害を受け、ようやく40％ほど復旧したが、県庁周辺はガスが使用できず、食堂は開店休業状態である。そのため、弁当を買って、車の中で昼食を済ませた。宮城県市町村課長の池田氏は二ノ湯議員が総務大臣政務官時代の秘書官。小野寺危機管理監と池田課長の2人が、今回の地震、津波の被害状況を説明してくれた。今回津波による宮城県の被害額は約2兆1千4百億円で、破壊された家屋や漁船、レジャーボートなどのゴミの量は、宮城県の一般廃棄物の約23年分に匹敵し、ゴミを分別して、3年をメドに、環境問題を配慮し、住民の理解を得て、野焼き処分をする方針とのことである。下水処理場も被害を受け、完全復旧には3年は掛かるようである。宮城県の人的被害は、4月5日現在、死者7,216人、行方不明者6,312人であるが、まだまだ全体の被害状況は把握できていないので、調査が進めば行方不明者の数は2倍ほどに増える可能性があると語っていた。

廃墟と化した石巻　なぜ高台の公園に避難しなかったのか

宮城県庁で説明を聞いた後、仙台から車で1時間ほどの石巻に向かった。市街地は海辺に近く、しかも海面と町の標高差はほとんどない。地震で地面が沈下したのか海面より低い道路がある。日和山公園から被害に遭った門脇町・南浜町を眺めると地震と大津波、その後の火災によってほとんどの家が焼かれガレキの山となっている。街中には大きな漁船が打ち上げられている。いかに大きな津波が押し寄せたかがわかる。自衛隊員がガレキの中で、作業をしていた。遺体の捜索を最優先にしているが、難航しているようであった。標高56.4メートルの日和山公園は津波警報が出された後でも、老人でもゆっくりと避難できる距離である。なぜ避難しなかったのか。まさか10メートル以上の巨大津波が来るとは誰もが予想もしていなかったのではないか。しかし、東北三陸地方は明治29年、昭和8年大津波がきて、多くの人が犠牲になった。津波が来たら、何をさて置いても逃げろと町の古老に聞いていた人は避難し、助かっている。人の生死の分かれ目、明暗の分かれ目は、まさに一瞬の判断である。

石巻で自衛隊員に捜索状況を尋ねる
二ノ湯議員と末松議員（左）



「日本真生塾」　第8回例会のお知らせ

平成23年5月30日(月)　18時～21時
場所：龍谷大学アバンティ響都ホール
（京都駅八条口前アバンティ9F）
※東エレベーターからのみ上がれます
★今後のテーマは「戦後の日本」について進めてまいります。
使用するテキストは、「骨抜きにされた日本人」（1500円）
★日本真生塾は塾生を引き続き募集しております。
★毎月１回の例会を開催
★年会費　一般（社会人）　5000円
学生　2000円
＜お問い合わせは事務局へ＞（担当：近藤）
右京区西院坤町２ハウスドゥ四条ビル6F
TEL：050-7544-4018
メール：nihonsinseijuku@yahoo.co.jp
ホームページを立ち上げました。日本真生塾 で検索してください。
日本真生塾　塾長　岡本幸治

新人議員、抱負を語る

前半の統一選、京都府会で5人、市会で3人の自民党所属の新議員が誕生した。それぞれの議員は熾烈な戦いを勝ち抜き、多くの有権者の期待を背負って議会壇上に登場した。今日、地方議会に対する有権者の見る眼は厳しい。それだけに、初心忘るべからず、いつも府民･市民の代表であることをしっかりと自覚して、京都府、京都市発展の為に職責を果たしてほしい。

京都府議会 池田正義氏（舞鶴市）

このたび千歳利三郎府議の後継候補として、自民党公認での出馬をさせていただきトップ当選させていただきました。舞鶴選挙区は定数1減のなかで新人として厳しい戦いでしたが、自民党の谷垣総裁や二ノ湯府連会長や西田参議院議員などの国会議員の先生方の応援をいただき、保守系市議さんを中心にしっかり支援していただいたお蔭です。初心を忘れず、自民党の府議会議員として舞鶴市・京都府の発展のためこの身を使わせていただきます。

京都府議会 井上重典氏（福知山市）

福知山市の人口は、1年間で約600人が減少しております。京都北部を巡る状況は産業の危機、雇用・不況問題、社会保障費の増大、市街地の空洞化、山の荒廃、農業担い手不足、少子高齢化による地域衰退の懸念、環境の危機など、高齢化の進行で更に厳しい時代を迎えますが、これに歯止めをかける施策を見極め福知山市の明日をつくるために一つ一つ対処をしていきます。

京都府議会 能勢昌博氏（長岡京市･乙訓郡）

二ノ湯会長をはじめ、多くの自民党議員や党員の皆様に支えられ、坪内正一府議会議員の議席を守ることができました。

この災害を通じて、地域の方たちと生きることの大切さを学び、希薄になりつつある地域内のコミュニティを高める役割の一端を担わなければならないと強く感じました。それとともに、日本人が古くから受け継いできた弱者への思いやりの気持ちや、節度ある行動、助け合いの精神などを、しっかり皆様にお伝えしていきたいです。

京都府議会 四方源太郎氏（綾部市）

4年前に自らの不徳で失った自民党の議席を取り戻すことができました。この4年、多大なるご迷惑をおかけいたしました。綾部市および京都北部は人口減少と過疎高齢化に苦しんでいます。なんとかこの苦境を脱し、将来に希望を見出すためには、私たち若い世代が新しい感覚を取り入れなければならないと思っています。頑張ります。

京都市会 桜井泰広氏（左京区）

感謝そして決意!! 共産党、民主党、京都党の牙城である左京区において、大激戦の選挙を、二ノ湯智京都府連会長はじめ、多くの皆様にお助けいただき、初陣を飾ることができました。改めて心より御礼申し上げます。選挙中、街頭で多くの区民の方から「やっぱり政治は自民党がせなあかんなあ」という声をききました。このご期待にお応えできるよう、京都市政に良心を貫き、ふるさと「左京区」発展のため、全身全霊で取り組んでまいります。何卒宜しくお願い申し上げます。

京都府議会 兎本和久氏（木津川市･相楽郡）

東日本巨大地震、津波災害でお亡くなりになられた方々と被災された皆様に対し、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。さて、4月10日に実施されました、京都府議会議員選挙におきまして皆様方のご尽力で当選することができ心から感謝の気持ちで一杯です。「安心･安全・明るい未来」をスローガンに、まずは全力投球で邁進して行く覚悟でございます。何卒、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

京都市会 島本京司氏（南区）

長年南区で活躍された田中セツ子先生の後継者としまして私は今、その責任の重大さと使命感で心がいっぱいです。長引く景気低迷、民主党政権による社会全体の凋落（チョウラク）、さらには東日本大震災による深い爪痕を、皆の力を合わせて乗り越えてゆかねばなりません。そのためにも私は地方政治の場において、復興支援と安心安全社会の構築、福祉と教育の充実、そして地域経済の活性化に努力してゆく所存です。何卒よろしくお願い致します。

京都市会 椋田隆知氏（南区）

政治を志す者は、自分の幸せも大切ですが、市民全体の幸せを考えなければなりません。それが議員としての責任です。その責任をひっかぶって、議会活動に邁進する覚悟であります。組織の一員となれば、自分の意思と違うところがあっても、意見を合わせなければならない状況も出てきます。しかしながらそれは、正しい方向を見失う虞（オソレ）があります。私は、あくまでも市民の立場で是々非々を貫きます。　合掌

美術品展覧会に関する2法案が成立
二ノ湯委員長、本会議場で委員長報告

さる3月25日、参議院本会議で文部科学省が所管する「海外の美術品等の我が国における公開の促進に関する法律案」と「展覧会における美術品損害の補償に関する法律案」が全会一致で可決成立した。前者は海外の優れた美術品が日本国内において、第3者によって強制執行、差し押さえ、および仮執行をされることを防止する目的。主に台湾の故宮博物館の優れた美術品を日本の博物館、美術館で展覧会を行った場合、中国政府がそれらの美術品を差し押さえ等をすることを防ぐことが主な狙いである。今後、台湾の故宮博物館が持っている膨大な美術品を日本国内で鑑賞することが出来るようになる。後者は平成22年5月現在、全国に363の美術館、博物館があるが、展覧会を開催する場合、主催者は、美術品の輸送、展示中の破損、盗難などに備え、損害保険を掛けている。しかし、近年保険料が上昇し、展覧会主催者の負担が重くなっている。そのため地方の美術館等では国民が優れた美術品を鑑賞する機会が少なくなってきている。そこで万が一損害が生じた場合、その損害を国が補償することにより、主催者の保険料負担が軽くなり、入場料の引き下げにつながり、質の高い大規模な展覧会の開催が可能となる法律である。

本会議場で委員長報告する二ノ湯委員長

身辺雑記

一、3月11日午後2時40分発の「のぞみ」に乗り、品川駅で地震に遭遇した。新幹線は品川駅でストップ。線路の点検をしているのでお待ち下さいという車内アナウンスの後、約6時間ほど立ち往生したままであった。

一、政府が発表する野菜や魚に含まれる放射能暫定基準値。食べない方が望ましいが、発表の数値では1年間食べ続けても健康を害することはないと言う。一方、政府は風評被害に惑わされないようにと啓発。さてどうすればいいんだと国民は思う。

一、東北で多くの部品工場が震災の被害に遭い、操業が出来なくなった。それがたちまち全国に影響を及ぼし日本の経済活動に大きなダメージを与えている。改めて日本経済の相互依存関係が全国的に広がっていることを知らされた。

一、4月1日から告示された統一選。9日間に府会、市会の公認候補者51人の事務所を激励訪問した。その間同僚の息子の応援に富山に行き、さらに被災地の激励に仙台、石巻に足を運んだ。かなりきつい日程だった。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円

郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228